

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画進捗状況(河原) 目次 (～29年度各進捗状況)

平成30年2月14日

総合支所	項 目 名	項目番号
河原町	協働による防犯対策の推進	①
	農業の振興と有害鳥獣対策の推進	②
	企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	③
	子育て・教育環境の充実	④
	観光振興に伴う交流人口の増	⑤

①協働による防犯対策の推進 進捗状況【～30年3月末】

総合支所名	河原町	5項目一①
項目名	協働による防犯対策の推進	
現状と課題等	子どもたちの安全な暮らしを脅かす事象の発生をきっかけに、平成19年度より、官民協働で「自分たちのまちは自分たちで守る」をスローガンに掲げ、「青色防犯パトロール」を開始した。町民の防犯意識の向上と犯罪・不審者の発生を抑制し、児童・生徒はもとより、地域住民が安心して暮らせるよう、これらの取組を継続して実施します。	

項目名	事業概要	目標	短期推進目標(～29年度)		29年度進捗状況(～30.3.31)		
			目標	担当課・関係課等	29年度実施計画	29年度進捗内容	備考
協働による防犯対策の推進	1. 警察・地域住民(団体)と協働で行う、防犯パトロールの継続と充実 2. 地域住民(団体・学校)と連携したあいさつ運動の啓発・推進「安全で安心なまちづくり」	小中学生の安全・安心な暮らしの確保	○効果的実施の検討	河原町総合支所(地域振興課、教委分室)危機管理課、学校教育課 民生・児童委員 智頭警察署	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで情報共有を行う。 ○民生児童委員との連携による青パトの継続実施。 ○智頭警察署の協力による青色パトロール隊員の定期的な研修を実施する。	○青少年育成協議会及び園長・校長会などを定期的に開催し、園児、児童生徒の現状について情報交換を行った。 ○民生児童委員との連携による青色防犯パトロールを実施(月、水、金曜日)した。 ○青色防犯パトロール隊員の研修(講師:智頭警察署員)を6月7日に行った。	
		小中高校生の健全育成及び地域の安全確保(園児・小中学生犯罪認知件数0を目指す。)	○効果的実施の検討	河原町総合支所(教委分室)生涯学習・スポーツ課 各小中学校、民生児童委員、智頭警察署、学校教育課	○青少年育成協議会総会・役員会などで、少年愛護センター発行の安全・安心だよりを活用して認識を高めるとともに会員間での情報共有等に取組む。 ○月1回開催される河原中学校区「園長・校長会」で、児童生徒の状況等についての情報共有と防犯について協議を行う。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを継続実施し、特に小中学生・青少年の非行防止と地域の防犯活動を行う。	○青少年育成協議会を長期休み前などに定期的に開催し、少年犯罪の発生状況や傾向について情報共有を行った。 ○園長・校長会で、児童生徒の状況等についての情報共有と防犯について協議を行った。 ○PTA連絡協議会主催による家庭教育啓発講演会を実施し、「鳥取の子どもたちの今、～子どもの現状と子どもを育てる環境づくり～」について保護者等を対象に啓発を行った。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを継続実施し、小中学生・青少年と地域の防犯活動を図った。	
		①あいさつ運動の啓発を進めて道徳の高揚を図る。 ②地域に暮らす全ての世代がお互いに声を掛け合い、助け合う「風土づくり」と「防犯の意識づくり」を行い、発展させることにより、地域と行政の協働による安全で安心なまちづくりを図る。	○応募数増に向けた取り組み検討(周知徹底ほか)	河原町総合支所(地域振興課、教委分室)生涯学習・スポーツ課、学校教育課、子ども家庭課、保育園、あゆっこ園園児及び保護者と小中学校児童生徒とPTA 青少年育成連絡協議会	○あいさつ運動の応募数増に向けた取り組み検討(各学校、児童・生徒と保護者へ周知徹底ほか)を行う ○継続して園児・小中学生とその保護者にも呼びかける。 ○優秀な作品6点を看板にして、園、小(3)、中学校、支所に掲示(町内6カ所)するとともに最優秀を受賞した生徒・児童に記念品と表彰状を送って機運を高める。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について検討を行う。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を町民と行政が協働で推進する。	○あいさつ標語の応募数増に向けた取り組み検討を行い、園児・小中学生とその保護者等にも呼びかけた結果、一般の部で57件の応募があった。 ○優秀な作品6点を看板にして、各園、小中学校、支所に掲示するとともに最優秀を受賞した生徒・児童に記念品と表彰状を送り機運を高めた。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を市民と行政が協働で実施した。	

②農業の振興と有害鳥獣対策の推進 進捗状況【～30年3月末】

総合支所名	河原町	5項目-②
項目名	農業の振興と有害鳥獣対策の推進	
現状と課題等	農業の後継者不足に伴う耕作放棄地の増大などに対応するため、専業農家はもとより農産物加工グループ、兼業農家、高齢者農家などの支援を行い、農地の荒廃防止と年金+αによる、生きがいづくり農業を進めます。	

項目名	事業概要	目標	短期推進目標(～29年度)		29年度進捗状況(～30.3.31)		備考
			実施内容	担当課・関係課等	29年度実施計画	29年度進捗内容	
農業の振興と有害鳥獣対策の推進	1. 専業農家、農産物加工グループ、高齢化農家の支援と所得向上 2. 有害鳥獣被害防止支援と獣肉のジビエ活用推進	高齢者、兼業農家の農産物の販売額増及び販売商品の生産増 ※目標変更 ●【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について、当事者の生きた意見を把握し、今後の施策に反映する。	○直売所等への出荷量、出荷品目の増検討 ○「(仮)かわはらふるさと便」の立上げ ※目標変更 ●専業農家、認定農業者、新規就農者、農業関係団体等による『意見交換会』を実施する。	河原町総合支所(産業建設課)農業振興課、農業委員会、JA鳥取いなば	○『河原地域の農業振興に係る意見交換会』を引き続き実施する。	○『河原地域の農業振興に係る意見交換会』を実施し、新規就農者へのアドバイスなど意見交換や情報共有を行った。(平成30年1月26日実施、20名参加)	(参考) ・新規就農者 4名
		専業農家の生産コストの縮減とブランド販売を目的とした販路の拡大	○個人、農事組合等に対して『法人化』への積極的なPR・促進計画策定。 ○JA、県普及所等と連携して法人化出前説明会の実施。	河原町総合支所(産業建設課)農業振興課、農業委員会、県普及所、認定農業者	○農事組合等の『法人化』へのPR・促進目的で、JA、県と連携して、集落出前説明会を実施する。	○農事組合等の『法人化』へのPR・促進目的で、JA、県と連携して、H29年度は2集落(河原中井、小河内)で出前説明会を実施した。	(参考) H30. 2. 9現在 ・認定農業者 11名 ・認定農業法人 4社 ・担い手農業者(組合等含む)16人
		①農産物加工グループ(地元任意団体)の商品販売額(販売量)の向上 ②河原町特産品販売の拡大	○農産物加工グループの洗い出しとカルテ作成 ○現存する加工品の診断及び改良 ○『とっとり旨味工房かわはら』の活動支援と活性化	河原町総合支所(産業建設課・地域振興課)農業振興課、林務水産課、地域振興局地域振興課、県普及所、河原ふるさと特産品協議会	○『とっとり旨味工房かわはら』等の活動を支援する。	○鳥取市農産物販路拡大支援事業により東京、大阪、神戸などでの販売活動を行う経費の助成を行った。	(参考) ・中央ファーム・アトラス・新規就農者等
		有害鳥獣被害防止対策の推進と獣肉解体施設の稼働率向上及び解体獣肉の販売量の増	○侵入防止柵等の設置費用助成額増。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上 ○解体施設設備の改良・増設の助言並びに支援。 ○施設管理者と利用者のマニュアル充実	河原町総合支所(産業建設課)農業振興課、鳥取県、鳥取市猟友会南支部、北村ししぼたんの会、いなばのジビエ推進協議会	○被害対策として、各集落に電気柵等の設置事業を推進する。	○H29年度も全集落に補助事業の内容を周知し、電気柵等の設置事業に対して18集落(22件)に助成を行った。(総事業費の2/3、総額2,942千円)	○有害駆除個体数は、415頭(H29年12月まで)と例年に比べ、32頭減少している。

③企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進) 進捗状況【～30年3月末】

総合支所名	河原町	5項目-③					
項目名	企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)						
現状と課題等	本市では、大規模事業所の事業再編等により、多くの離職者が発生しています。民間・公共の遊休施設を活用した企業誘致と河原インター山手工業団地の着実な事業推進を図り、若者の就業機会の増加など、地域内雇用の創出を図ります。 また、民間による住宅団地・分譲地の整備を促し、居住環境を充実するとともに、グリーンツーリズムなどの体験交流の拡充を図り、移住定住を推進します。						
項目名	事業概要	目標	短期推進目標～29年度		29年度進捗状況(～30.3.31)		
			実施内容	担当課・関係課等	29年度実施計画	29年度進捗内容	備考
企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	工業団地の確実な整備と企業誘致また空き家活用によるUJターン者の増のほか宅地造成分譲による若者の定住促進	河原インター山手工業団地への企業誘致及び既設工業団地の拡張整備による企業誘致	○河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○既存工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	河原町総合支所(産業建設課)企業立地・支援課、河原拠点地域振興センター、(一財)鳥取開発公社	○河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○布袋工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地【整備状況】 ・平成30年3月完成予定。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約1.9ha(約32%)は分譲済、約1.2haは分譲予約済。 ○布袋工業団地【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○進出企業の状況 ・(株)イナテック鳥取 H28/6月操業開始 随時求人募集中 (雇用予定者数 100名) ・(株)ササヤマ H28/9月操業開始 (雇用予定者数 37名) ・マルサンアイ鳥取(株) H29/6月操業開始 随時求人募集中 (雇用予定者数 100名) ・(株)城洋 H31/4月操業開始予定 (雇用予定者数 15名)
		河原町へのUJターン者の増(町外からの移住者)	○河原町へのUJターン者の増に向けた検討 ○空き家情報等収集(利活用可能)	河原町総合支所(地域振興課)地域振興局地域振興課	○西郷地区に新設されたお試し体験施設の活用(宿泊数及び体験者)と当地区へのUJターン者の増を目指す。	○河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJターン者の受け入れ体制を強化した。	○本年度現在の河原町への移住者は2世帯、3人(市の相談窓口調べ) ○他の地区でもUJターン受入体制整備について取組む必要がある。
		民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進	○民間事業者への呼びかけと支援策の検討及び法手続き等の開始	河原町総合支所(産業建設課)	○河原町西郷地区への有望な工芸家の転入を支援する(H29年年度1名程度) ○「西郷工芸の郷」に向けて西郷地区住民の機運を盛り上げ、地区内外へのPRのため実施される西郷工芸祭りを継続して支援する。	○H29.4月河原町湯谷へ新進気鋭の若手陶芸家が夫婦で移住、人間国宝前田昭博氏のもと日夜研鑽に励んでいる。 また、若手陶芸家に研修に要する経費として毎月12万円の補助金を支給した。(県1/2・市1/2) ○いなば西郷工芸の郷を内外にアピールし、機運を盛り上げるため10月28日に第2回西郷地区工芸祭りが実施された。 ○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、西郷地区に若手工芸家等を誘致し、活動の拠点とするため、北村にシェアハウス 本庵にゲストハウスを設置への支援	○いない河原店隣接地の開発行為が完了し、新たな店舗が建設される動きがある。

④子育て・教育環境の充実 進捗状況【～30年3月末】

総合支所名	河原町	5項目④					
項目名	子育て・教育環境の充実						
現状と課題等	子育て環境づくりとして、地域の中で支え見守っていきける環境づくりと支援体制の充実を図るため、河原町中央公民館、河原第一小学校、西郷小学校の耐震改修などの整備を計画的に行い、施設を長期に安心して利用できるようにします。						
項目名	事業概要	目標	短期推進目標～29年度		29年度進捗状況(～30.3.31)		
			実施内容	担当課・関係課等	29年度実施計画	29年度進捗内容	備考
子育て・教育環境の充実	1. 学校施設の耐震化、生涯学習施設(中央公民館、地区公民館)の耐震化	各種教育・生涯学習・体育施設の耐震改修と整備及び中央公民館・体育施設等の効率的且つ効果的な管理体制を図る。	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修 ○八上地区公民館耐震改修、西郷地区公民館整備 ○町内体育施設の計画的整備 ○中央公民館のあり方検討	河原町総合支所(地域振興課・教委分室) 財産経営課、協働推進課、教育総務課、生涯学習・スポーツ課、鳥取市体育協会河原町支部、河原町青少年育成連絡協議会	○平成30年度からの町内各体育施設の指定管理に向けて、詳細な協議を行なう。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けて協議を行なう。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)の詳細な設計及び工事着手 ○西郷地区公民館の整備完了	○平成30年度からの総合体育館、勤労者体育館の指定管理移行に向けた諸手続きを実施した。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を始めた。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)の工事に着手した。(平成30年5月頃完成予定) ○西郷地区公民館新築整備が完了した。(H29年10月完成)	○平成28年度からの河原町コミュニティセンター(旧中央公民館)の位置づけ変更に伴い、当施設の更なる利活用を図るため河原町コミュニティセンターの耐震整備を図る必要がある。
	2. 体育施設の整備(プール、体育館、運動場等)						
	3. 地域住民と小・中学校生徒及びPTAと連携した「河原町未来を語る会」の継続 4. 河原町文化祭などの文化活動の推進	「河原町未来を語る会」への参加者数の増と小中学生による実証	○園児・保護者、PTAを含めた「河原町未来を語る会」の実施と小中学生の提言等を各まちづくり協議会へ提供する。	河原町総合支所(教委分室)教育総務課、生涯学習・スポーツ課、学校教育課	○園児・保護者、PTA、町民を含めた「河原町未来を語る会」を継続実施し、参加者の増を目指す。	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」を8月19日に実施した。(各小中学校の代表が具体的な提案・プレゼンを行った。)保護者、各まちづくり協議会役員、一般市民等約150人の参加があった。	
	河原町文化祭への出展作品数・来場者数の増		○出展作品数・入場者数増への取り組み検討・実施	河原町総合支所(教委分室)教育総務課、生涯学習・スポーツ課、学校教育課、河原町文化祭実行委員会	○記念すべき第40回河原町文化祭を実施し、出展作品数・来場者数の増を目指す。	○10月28日～30日に実施し、来場者数、出展作品数が増となった。(来場者約2,200人、出展数969点) ○第40回を記念して公立鳥取環境大学環境学部教授浅川滋男氏を迎え講演会を実施した。「真さんの風景-千代河原と上方往来河原宿の遷ろい-」(参加者150名)	○今年度の入場者アンケート及び出展者(出展団体)アンケートに基づき内容を検証して、引き続き出展作品の増並びに来場者増への取り組みを進める。

⑤観光振興に伴う交流人口の増 進捗状況 【～30年3月末】

総合支所名	河原町	5項目⑤
項目名	観光振興に伴う交流人口の増	
現状と課題等	本町の街並みを展望できるお城山展望台「河原城」、古くは、湯治場として有名な「湯谷温泉」、自然豊かで四季を通じて彩どりが楽しめる「三滝溪」、ジオパークエリアで、パラグライダー等の名所「霊石山」、大国主命が会いに来た八上姫を祀る「売沼(めめま)神社」など、本町の豊かな観光資源を生かし、観光産業の活性化につなげることが求められています。このため、年間約150万人が利用する「道の駅清流茶屋かわはら」を情報発信の拠点として、観光振興と交流人口の増加に向けて戦略的に取り組みます。	

項目名	事業概要	目標	推進目標～H29年度		29年度進捗状況(～30.3.31)		
			実施内容	担当課・関係課等	29年度実施計画	29年度進捗内容	備考
観光振興に伴う交流人口の増	1. 河原城・湯谷荘・三滝荘への来訪者の増を目指す。 2. ジオパークエリアにある霊石山また八上姫を祀る売沼神社の知名度アップとこれらを活用した地域活性化の促進 3. 年間約150万人が訪れる「道の駅 清流茶屋 かわはら」を活用し、河原町の情報発信と新たな特産品等の創出版売促進	①河原城への入館者増 ②湯谷荘の利用者増 ③三滝林間施設への入込客増	○各施設の利用実態調査実施・分析 ○魅力創出とPRの推進(SNS等多様な情報発信による知名度アップ)	河原町総合支所(産業建設課・市民福祉課)観光戦略課、高齢社会課、林務水産課、ドリームかわはら、施設指定管理者	○三滝林間施設の今後の管理運営について関係課・地元と協議・検討実施。	「かわはら三滝の郷」による指定管理が29年度に終了することに伴い、H31年度から新たな管理者を募集することとしており、地元を始め関係機関と検討を開始した。(H30年度は地元で維持管理をお願いする予定)	三滝林間施設は、開所から30年経過したことによる老朽化、また鳥取県中部地震の影響により大規模な修繕が必要となっている。
		①グリーンツーリズムの推進(民泊受入者の増) ②むらとまち交流の増	○新たな民泊及びむらとまち交流等の掘り起しと既存ツーリズムの再生	河原町総合支所(産業建設課・地域振興課)地域振興局地域振興課、とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会、鳥取市グリーンツーリズム連絡会	○国英地区で実施されているむらとまち交流(岩倉地区)が継続実施。 ○西郷地区での民泊再生に向けてのモニター体験及び宿泊等の実施	○平成27年度より、国英地区と岩倉地区のむらとまち交流事業が継続実施されている。(4月30日43名参加10月8日27名参加) ○八上地区と丹波篠山市との交流が継続して行われている。(8月5日28名参加、11月 18日51名参加) ○西郷地区で新たな民泊事業に向けて検討を開始された。	平成30年9月グリーンツーリズム関係の法制度改正予定
		①河原町の各種観光情報発信の充実強化(道の駅活用) ②新たな特産品の創出と販売の促進	○地域おこし協力隊設置による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	河原町総合支所(産業建設課・地域振興課)地域振興局地域振興課、都市企画課、(株)ドリームかわはら	○地域おこし協力隊設置(エコリズム担当)による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出/本庁で設置した隊員との連携によるライド鳥取の継続実施。	○地域おこし協力隊(エコリズム担当)による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出を行った。 ○第2回鳥取すごい!ライド140Kmが、8月20日実施された。	
		あゆ祭りの情報発信強化等により因幡の夏イベントとして定着(2万人以上の来場者維持)	○あゆ祭りの情報発信強化(知名度アップ等)に向けての検討	河原町総合支所(産業建設課)観光戦略課、あゆ祭実行委員会	○あゆ祭(第39回)を引き続き、8月5日開催する。	○第39回あゆ祭を8月5日(土)に実施した。	(参考) 来場者数 H29年度 25,000人 H28年度 25,000人 H27年度 23,000人
		ジオパークエリア霊石山の観光資源の再発掘、整備、活用をして魅力を向上し、来訪者の増を目指す。	○国英地区と協働して霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	河原町総合支所(産業建設課)観光戦略課、鳥取砂丘ジオパーク推進課、農村整備課、国英地区ハングライダー・パラグライダーグループ	○国英地区との協働による霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による伊勢ヶ嶮の整備を行った。 ○トレッキングなど霊石山を活用した事業が6月4日に行われた。 ○林道中山線の改修を行った。	
		売沼神社等への来訪者の増	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析また各関係者と利活用の検討	河原町総合支所(産業建設課)鳥取市南商工会、観光戦略課、八上地区、施設指定管理者	○売沼神社等への来訪者の増を目指す。	○河原地域をはじめ鳥取南部地域の食材や観光施設を活かした観光商品化を検討するため、鳥取南商工会が中心となり食事、特産品、ツアーの3部門の開発検討を行った。また、県外者対象のモニターツアー「餅着付け体験、売沼神社での祈禱、えびごhohanでの昼食など」を平成29年11月13日に実施した。(参加者約1	鳥取市南地域経済循環活性化プロジェクト事業(女子力アップツアー-MISATO)でアンケートを実施した。